

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	男女共同参画保護救済事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730303	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	120	頁
施策体系	施策コード	010301 施策名 性別にかかわらず、個性と能力を発揮できる環境を充実させる											
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和2年度									
根拠法令等	関連計画名 第3次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2011後期計画」、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画(第2次)												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	男女共同参画推進事業												

II 事業基礎情報									
事業目的(あるべき姿)	DVや性暴力などの女性に対する暴力は重大な人権侵害であり、女性の人権の確立に向けた行動を大きく阻害するものである。男女共同参画センターを拠点とし、被害者の保護・救済と暴力の防止に向けて積極的な予防啓発を推進するとともに、相談体制の充実・強化や関係機関との連携を強化することにより、迅速かつ適切な被害者の自立支援体制を確立する。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都弁護士会、女性問題専門カウンセラー、臨床心理士								
事業概要(簡条書き)	DV防止計画に基づき、DVや様々な暴力の根絶に向けた施策を行う。 ・女性相談(年間22回) ・女性弁護士による女性法律相談(年間8回) ・男性のための電話相談(年間4回)・学生法律相談(年間1回) ・DV被害者支援等・緊急一時保護的宿泊等支援 ・DV相談(緊急のDV相談対応(随時))								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	17	相談チラシ作成用上質紙						
	役務費	21	電話代、郵送料						
	委託料	1,227	女性相談、女性弁護士による法律相談、男性のための電話相談						
	使用料及び賃借料	9	DV被害者緊急一時的避難宿泊等支援						

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,253	1,994	1,846	1,798					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0				
		次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①~③)	2,253	1,994	1,846	1,798					
予算財源内訳	① 一般財源	2,253	1,994	1,846	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0					
	② 配当予算	2,253	1,994	0	0					
	③ 執行額	1,259	1,273	0	0					
	④ 執行率	55.9%	63.8%							
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.81/0.74	0.85 / 0.15	0.85 / 0.15	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	8,330	7,175	7,175	0					
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	9,589	8,448	7,175							
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁				
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁				
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁				

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	女性相談の相談者数	人	198/136	198/139	178 / 145	/ 150	150		
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	相談窓口案内カード設置場所	箇所	327/500	384/500	777 / 500	/ 500	500		
	単位あたりコスト		4.28	3.28	1.64				
	女性相談窓口開設数	回	22/22	22/22	22 / 22	/ 22	22		
単位あたりコスト		63.68	57.23	57.86					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者数は増加傾向にあり、相談内容も多種多様なものとなっている。また高齢者の相談や、児童虐待と関連する相談や複数回に渡る相談者もあるため、専門相談は不可欠となっている。 ・今後も相談者のニーズに応じた相談を実施することで、相談事業の充実を図る。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内外各関係部署と連携を密に図ることで、切れ目のない被害者支援を実施することができている。今後もさらに連携を強化し、被害者の自立支援に向けて寄り添った支援を継続していくことが重要と考える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は達成できた。 ・リピーターも増加しており、必要に応じて、フェミニストカウンセラーの女性相談から法律相談へつなぐなど、適切な相談業務が実施できた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・女性相談者数が成果指標に達したのは、継続した相談窓口の周知やDVに対する正しい理解促進といった啓発の成果、関係機関との円滑な連携ができた結果と考えられる。 ・相談窓口案内カードの設置場所については、今年度新たに自治会の集会所等に設置し、広く広報に動めた。今後も市内各企業や事業所等新たに設置可能な場所を模索し、積極的に協力を求めるとともに、DVに対する正しい理解をさらに広く周知していく必要がある。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業の充実を図るためには、今後もDV被害者やその他相談を利用される方が相談しやすいようにさらなる相談窓口の周知と様々な情報を提供するとともに、DVの被害者支援を行う庁内外の関係機関との連携をさらに強化し、被害者が安心して相談できるよう、引き続き切れ目のない支援体制を整備していく必要がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中事業評価			

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き相談窓口案内カードやチラシによる相談窓口の周知に努め、DVやさまざまな悩みを抱える人への相談、支援、関係機関との連携を強化する。 ○潜在するDV被害者には、本人や周囲の人への気づきを促すため、さらなる啓発を実施し、関係機関と連携しながら被害者支援、防止策を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---	--